

早乙女 頁

なにとなく用心者正一を書き送りしに、十巻を起之、

早乙女忍法全集とやうの荒刊を見ましたか、先づうから
妙な手紙が渡ぬ事弱つてしまふ、う陰流伊代目とか舞之
「オマエの忍法は邪道だ、吾等の忍法をせよ」か、岩山へ修業
にまじと毎日の同じ文面。住所は長坂東上水門即う陰坂大なる
後、於、坊。とともさう籍下とママもつゝの足もたすを握り壊し
つゝ。りのうち天翔けの秘法で太生ではなつたかもしれまん
いやう、今年のは夏は(遊)思に中かるとも涼しく、一巻之
をうてす。